

2019年8月6日

各位

会社名 NISSHA 株式会社

代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
(コード番号 7915 東証第1部)

問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人
(TEL. 075-811-8111)

第2四半期連結累計期間業績予想との差異および 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2019年12月期通期(2019年1月1日～2019年12月31日)の連結業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 78,000	百万円 1,080	百万円 Δ4,000	百万円 Δ4,300	百万円 Δ4,000	円 銭 Δ80.14
実績値(B)	73,100	Δ1,080	Δ5,829	Δ6,387	Δ7,569	Δ151.65
増減額(B-A)	Δ4,899	Δ2,160	Δ1,829	Δ2,087	Δ3,569	
増減率(%)	Δ6.3	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期 実績(2018年12月期第2 四半期)	72,542	132	Δ4,476	Δ5,954	Δ6,754	Δ133.77

差異が生じた理由

売上高はデバイス事業における製品需要が想定を下回ったことなどにより前回予想を下回りました。

損益面ではデバイス事業の売上高の減少の影響に加えて、産業資材事業における中国向け需要の減速に起因する国内工場の稼働率低下および海外工場の品質関連費用の増加などにより、EBITDA、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。またこれに加えて減損損失、固定資産除売却損等を計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回りました。

なお、EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

2. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 195,000	百万円 18,800	百万円 8,500	百万円 7,800	百万円 6,000	円 銭 120.21
今回修正予想(B)	180,000	11,800	1,500	500	0	0.00
増減額(B-A)	△15,000	△7,000	△7,000	△7,300	△6,000	
増減率(%)	△7.7	△37.2	△82.4	△93.6	—	
(ご参考) 前期実績(2018 年12月期)	207,404	17,343	8,080	7,380	4,318	85.70

(注) 当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績(2018年12月期)の数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえたうえで、最新の製品需要の動向等を考慮しました。売上高はデバイス事業における製品需要が当初想定に比べ低調となる見通しであり、産業資材事業では中国向けを中心に製品需要が弱含みであることなどから前回予想を下回る見通しです。

損益面では上記売上高の減少などの影響により、EBITDA、営業利益、経常利益も前回予想を下回る見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、遊休固定資産などの処分を予定していますが、EBITDA、営業利益、経常利益の見直しにより、前回予想を下回る見通しです。

なお、EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

以 上